

福島県 楡葉町

(基本方針)

楡葉町は、平成24年8月10日に警戒区域を見直し、避難指示解除準備区域となった。避難指示が解除され住民の帰還に向けて、インフラ復旧は必要な社会基盤であり、早急に整備しなければならない。除染を最優先に進めながら、道路、下水道、住宅、教育・福祉施設等を整備する。

さらに、町の帰還に向けて生活環境を整えるため、廃棄物処理（ゴミ、下水汚泥処理等）体制及び商業観光施設を併せて整備する。

1. 海岸対策

① 海岸の状況

町内の地区海岸数	6 地区海岸
被災した地区海岸数	6 地区海岸
応急対策を実施する地区海岸数	4 地区海岸
本復旧を実施する地区海岸数	6 地区海岸

② 堤防高

平成23年10月8日に堤防高を公表※。

檜葉海岸 : T.P. + 8.7m (対象: 津波)

※公表した堤防高を基本に、環境保全、周辺環境との調和、経済性、維持管理の容易性、施工性、公衆の利用等を総合的に考慮して、堤防の構造を決定する。

③ 復旧の予定

復旧する施設の概要計画については、平成24年度末までに策定予定。これに基づく本復旧工事の実施については、復興計画を踏まえ、他の事業との調整等を進めながら今後決定する。

本復旧工事の完了については、まちづくりや産業活動に極力支障が生じないように、計画的に復旧を進め計画策定後概ね5年での完了を目指す。

④ 平成24年度の目標

被災した6地区海岸において、平成24年度末までに復旧する施設の概要計画の策定※を目指す。

※概要計画策定とは、災害査定のための概略設計の完了をもっていう。

⑤ その他

復興計画策定に際しては、最大クラスの津波（レベル2）も考慮し、必要に応じ、津波浸水シミュレーション等を活用した支援を実施。

2. 河川

【県管理河川】

平成23年度に被災調査を実施しており、井出川外3河川で地震・津波による被害が確認された。復旧する施設の概要については、内陸においては概ね3年程度、河口部においては、海岸との調整等が必要となることから、平成24年度に査定を受け、概ね3～5年程度での完了を目指す。

【町管理河川】

町内を流れる才連川（普通河川）河口は、津波による被害があるため、平成25年度に調査の完了、災害査定を受検を完了し、海岸堤防の計画に合わせて復旧工事の完了を目指している。

また、福島県の護岸工事があるため、協議を要する。

3. 下水道

【公共下水道】

下水道施設の被災調査は、平成24年6月末に完了。管渠及び北地区浄化センターは、平成24年7月23日から27日、南地区浄化センターについては、平成24年9月3日から7日にかけて災害査定を受検。

管渠の復旧工事は、平成24年9月の町議会における議決を経て着手し、平成25年8月までに完了予定。

北地区浄化センターの復旧工事は、平成24年9月に着手予定だが、被害が少ないため一部は稼働している。

南地区浄化センターの復旧工事は、平成24年10月に着手を予定しているが、被害が大きいため平成26年3月に完了予定。

【下水道汚泥処理】

被災以前は、処理場にて汚水を濃縮・脱水し、双葉地方広域市町村圏組合が管理する大熊町に所在する炭化処理施設にて処分していたが、現在は施設が警戒区域内にあるため、搬出ができない。代替施設を模索している。

4. し尿処理

【合併浄化槽】

合併浄化槽は、使用者において復旧工事を随時予定している。被災した浄化槽の入替え（新設）について、下水道処理区域外であれば、東日本大震災復興交付金をはじめとする国県補助を財源とした浄化槽整備事業が利用可能。

【浄化槽等の汲み取り清掃】

浄化槽や汲み取り便槽は、1年以上放置しており、槽内を汲取り清掃する必要がある。環境省が主体となり、汲取り清掃の実施を予定している。

【し尿処理】

被災以前は、浄化槽・汲取り便槽から汲取ったし尿を、双葉地方広域市町村圏組合が管理する富岡町のし尿処理施設にて処理していたが、現在は施設が警戒区域内にあるため、他の市町村の協力を得て処理を行っている。

5. 道路

【町管理道路】

町管理道路は、被災調査を平成23年から実施しており、78路線が地震・津波による被害が確認された。

地震による被災路線のうち、災害査定が完了している7路線については、既に工事に着手済みである。残る路線については、災害査定が完了後、工事に着手し、平成25年度の完了を目指している。

津波による被災路線は、平成25年度に災害査定、工事の完了を目指している。

6. 農地・農業用施設

【農地】

農地は、福島県の支援により、平成24年5月から6月に被災箇所特定のための調査を実施し、田8箇所の震災被害が確認され7月に測量調査設計に着手し、平成25年3月までに災害査定設計を完了する予定。また、平成25年度に災害査定を受検し、平成27年度にかけて復旧工事の完了を目指している。

また、沿岸部については、檜葉町復興計画に基づき、津波防災地域づくり総合推進計画の策定に入り、防潮堤の整備・防災緑地・河川護岸の嵩上げ・河川の付替・浜街道（県道）の整備等を踏まえ、檜葉町まちづくり計画策定業務委託を発注し、平成24年度にたたき台を作成し、関係機関（国土交通省・建設事務所・農林事務所・森林管理署）と協議を進めながら平成26年度から本格復興期に入る予定である。その間ガレキ置場や除染による仮置場となる沿岸部の農地復旧については、今後営農再開に向けた説明会を開く予定である。

【農業用施設】

農業用施設は、福島県の支援により、平成24年5月から6月に被災箇所特定のための調査を実施し、ため池15箇所、頭首工3箇所、水路24箇所、農道3箇所の震災被害が確認され、7月に測量調査設計に着手し、平成25年3月までに災害査定設計を完了する予定。また、平成25年度に災害査定を受検し、平成27年度にかけて復旧工事の完了を目指している。

また、木戸川排水機場については震災被害を確認しているが、津波防災地域づくり総合推進計画を踏まえ、復旧方法、復旧時期を検討する

※中間貯蔵施設が檜葉町に設置された場合、地権者（耕作者）の意向により災害査定の対象とならない可能性がある。

【林道】

林道は、平成24年6月に福島県により被災調査が完了し、山神女平・下繁岡・正明寺・松ヶ丘・ハネ合センベイ・江瀬山線の6路線で被害が確認された。ライフライン・生活圏の公道を優先に整備するため、工事着手の時期については、現在町で検討中。

7. 海岸防災林の再生

① 海岸防災林の被災状況

津波により治山施設（根固工）が被害を受けた。

また、林帯地盤3haが地震により地盤沈下するとともに、森林が津波により流失した。

② 復旧の予定

津波により被災した治山施設は、治山施設災害復旧事業により復旧する。地盤沈下した林帯地盤及び流失した森林については、今後、檜葉町で策定される復興整備計画の内容を踏まえ、防災林造成事業により植生基盤の盛土、植栽等の実施について検討する。

③平成23年度における成果

海岸防災林の被災状況について概況調査を実施した。

④平成24年度における成果目標

被災した治山施設については、平成24年度中に査定を完了し、本格復旧の着手を目指す。地盤沈下した林帯地盤及び流失した森林については、檜葉町の復興整備計画の検討状況を踏まえ、再生計画を検討する。

8. 防災無線

【親局・屋外拡声子局】

親局及び屋外拡声子局は、被災調査を平成24年7月に実施し、システムが正常に動作することを確認している。応急復旧工事は10月の完了を目指している。

また、1月より要修理が確認された大阪、乙次郎地区の屋外拡声支局の修理に着手し、平成25年度に、津波により倒壊した前原、波倉地区の屋外拡声支局の設置工事に着手する。

個別受信機は平成25年度に全箇所において動作確認を実施する。

【J-ALERT】

J-ALERT機器は、平成25年度に被災調査・復旧工事の実施を検討している。また、戸別受信機の受信状況調査・復旧工事も同様に実施を検討している。

9. 役場・公共施設

【役場】

役場庁舎は、平成24年度に被災調査を完了し、平成25年度に災害査定を受検し、工事着手を予定している。

【集会所】

集会所は、平成24年度に被災調査を完了し、平成25年度に災害査定を受検し、工事着手を目指している。

10. 福祉施設

1) 児童館

【南児童館】【北児童館】

平成24年度に被災調査、災害査定、工事の着手を目指している。

2) 高齢者関連施設

【保健福祉会館】【やまゆり荘】

平成24年度に調査、査定及び工事に着手する予定。

3) 障がい者関連施設

【りんべるハウス】【グループホームこばな】

平成24年度に被災調査の完了、災害査定、工事の着手を目指している。

1 1. 文教施設

【こども園】

あおぞらこども園は、平成24年度に被災調査の完了を目指し、平成25年度に災害査定を受検し、復旧工事の着手を予定している。また、平成26年度には室内除染及び清掃を実施し、平成27年4月の再開を予定している。

【南小学校】

榎葉南小学校は、平成24年度に被災調査の完了を目指し、平成25年度に災害査定を受検し、復旧工事の着手を予定している。また、平成26年度には室内除染及び清掃を実施し、平成27年4月の再開を予定している。

【北小学校】

榎葉北小学校は、震災以前に大規模改修する計画であったが、今後は、児童の帰還状況や保護者の意見等を踏まえ、統廃合も含めて検討をしている。

【榎葉中学校】

榎葉中学校は、耐震基準Is値0.3未満であったため、平成22～23年度において改築工事を実施していたが、震災・原子力災害により進捗率21.24%で工事が中断している。

平成24年度に被災調査を実施し、平成25年度より工事の再開を目指している。また、長期間材料・資材等を放置していたため、腐食・劣化等が激しく、躯体についても解体し、コンクリートの打ち直しが必要。

【武道館】

榎葉中学校武道館は、天井材の落下等のため、修繕が必要。平成25年度に被災調査～工事の実施を予定している。

【コミュニティセンター】

コミュニティセンターは、平成24年度に被災調査が完了し、平成25年度以降に工事着手を検討している。

【公民館】

公民館は、平成25年度以降に被災調査・工事着手を検討している。

【総合グラウンド】

総合グラウンドは、平成25年度以降に被災調査・工事着手を検討している。

【町民体育館】

町民体育館は、平成25年度以降に被災調査・工事着手を検討している。

【教員住宅】

教員住宅は、平成25年度以降に被災調査・工事着手を検討している。

【J F Aアカデミー女子寄宿舍】

J F Aアカデミー女子寄宿舍は、平成25年度以降に被災調査・工事着手を検討している。

1 2. 観光施設

【サイクリングターミナル・しおかぜ荘】

サイクリングターミナル・しおかぜ荘は、平成24年5月に温泉被災調査を実施し、7月に施設の被災調査に着手している。10月から宿泊施設として除染工事業者に貸すため、応急復旧工事をそれまでに完了する予定。また、本復旧は平成25年度の完了を予定している。

【道の駅ならは】

道の駅ならはは、平成24年9月に羽黒山温泉被災調査と施設の被災調査に着手している。10月から宿泊施設として、双葉警察署に当施設の物産館を貸すため、応急復旧工事をそれまでに完了する予定。また、本復旧工事は平成25年度の完了を予定している。

【天神岬スポーツ公園】

天神岬スポーツ公園は、平成25年度から調査に着手、平成26年度から工事に着手する予定。

【木戸川渓谷遊歩道】

木戸川渓谷遊歩道は、平成25年度から調査に着手、平成26年度から工事に着手する予定。

【岩沢海水浴場】

岩沢海水浴場は、平成24年9月から津波による瓦礫を撤去するまでの間進入路を封鎖している。平成25年度から調査に着手、平成26年度から工事に着手する予定。

13. 公営住宅

町営住宅は、平成24年度に被災調査を完了し、平成25年度に災害査定を受検し工事着手を目指している。また、被災の程度により、解体も含め入居者と協議をしながら復旧に努める。

1 4. 産業・産業用施設

【南工業団地】

南工業団地は、専用排水管の被災調査を平成24年5月に実施し、10月に測量調査を予定している。工事着工は平成25年度に予定している。また、調整池等については、平成24年5月に被災調査を実施し、6月に測量調査に着手している。平成25年度に工事の着手を予定している。

15. 復興まちづくり

復興まちづくり計画は、津波により甚大な被害を受けた山田浜地区、前原地区、井出地区、波倉地区において、防災・減災施設を被災現況調査に基づき想定し、シミュレーションにより津波に対する効果を検証する。検証結果から、櫛葉町復興まちづくり計画を策定する。

16. 除染

平成24年4月に環境省により策定された当該計画に基づき、モニタリングは平成24年度に着手し、平成25年度に完了。先行除染は、平成24年度に着手し、平成25年度に完了。本格除染についても、平成24年度に着手し、平成25年度に完了することを目指し、国の直轄事業により実施する。

【実施予定】

平成24年度・・・波倉、繁岡、営団、下繁岡、上繁岡、松館、旭ヶ丘、大谷、
大阪、乙次郎、上小埜、楸ノ木下、下小埜

平成25年度・・・上井出、下井出、北田、前原、山田浜、山田岡

<参照>

http://josen.env.go.jp/material/download/pdf/naraha_121030.pdf

17. 災害廃棄物処理（対策地域内廃棄物処理）

①災害廃棄物の発生状況

町沿岸部5地区の津波による流出家屋の災害廃棄物は、可燃物が1万t、不燃物が1万5千tと、合計で2万5千tと推定される。仮置場には21,000㎡が必要とされている。

②事業実施予定

- ・仮置場は、波倉地区に14,574㎡、前原地区に22,530㎡の2箇所の設置を決定しており、造成工事事業発注済み。工事着手にむけて、準備中。
 - ・対策地域内廃棄物処理計画に則り、平成25年度中の処理を目指す。除染廃棄物の処理状況を踏まえ、適宜見直すものとする。
 - ・旧警戒区域において、国による解体が必要な家屋の解体、被災自動車の撤去、仮置場整備等に順次着手する。
- ※地権者及び周辺住民のご理解とご協力が必須となる。

③平成23年度における成果

- ・災害廃棄物発生状況、仮置場候補地、仮設焼却炉設置候補地等の実地調査を実施。
- ・国直轄事業内容について、町との調整を実施。

④平成24年度の成果目標

- ・国による解体が必要な家屋の解体を実施し、災害廃棄物の仮置場への搬入を完了。

インフラ復旧の工程表(檜葉町)

→ 工程が見込めるもの ···→ 工程が現時点で見込みにくいもの

平成24年9月末現在

事業	整備主体	被災/稼働状況	H24年度				H25年度				H26年度				H27年度以降	備考・ポイント等
			4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
海岸																
海岸対策 6地区海岸 (農地海岸、一般海岸)	県	堤防崩壊	調査			査定	詳細設計、協議解除手続き				工事				関係計画調整後、工事発注	
河川																
才連川(普通河川)	調整中	河川堤防欠壊					調査		査定	工事				H25年度中に調査・査定・工事発注を目指す。 河口部は海岸堤防との調整が必要。		
河川災害復旧事業	県	護岸流出、河岸浸食	調査	査定		工事								H24年内に査定完了予定 その後に工事着手		
下水道																
公共下水道 (南北処理区管渠)	町	総延長77kmに対し約7kmの被災。	調査	査定	工事								北地区は処理場が稼働しており、下流から復旧。南地区はブロック毎に復旧し、汲取り運搬により早期供用を図る。			
公共下水道 (北地区浄化センター)	町	施設の一部が被災したが稼働中。	調査	査定	工事								被害が少なく、施設は稼働中。新設となる脱水設備の完成を急ぐ。			
公共下水道 (南地区浄化センター)	町	津波により壊滅的な被害あり。	調査	査定	工事								平成25年5月には、一部供用開始を予定。			
し尿処理																
合併浄化槽整備	個人	被災状況は不明。随時被災の確認が必要。					補助申請・被災確認・施工・補助金交付								既設の浄化槽内は環境省が主体となって汲み取り清掃の実施を予定	
道路																
中満・天神岬線外6路線 道路復旧工事	町	7路線工事着工					工事								H23年度に応急復旧済 H25年1月工事完了予定	
道路災害(地震災)54路線	町	被災路線の調査中 災害査定9月～12月にかけて	調査			査定	工事								H24年12月までに査定完了予定 査定後は随時工事発注予定でH25年度末まで完了予定	
道路災害(津波被災)17路線	町	17路線津波被害、未調査					調査		査定	工事				H25年度に調査・査定・工事を予定		

→ 工程が見込めるもの ••• 工程が現時点で見込みにくいもの

平成24年9月末現在

事業	整備主体	被災/稼働状況	H24年度				H25年度				H26年度				H27年度以降	備考・ポイント等
			4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
農地・農業用施設																
農地(沿岸部以外)	町	田:8箇所 畦畔崩落・土砂流入・石積崩落	調査	測量	設計		査定				工事					
ため池	町	15箇所 前後法ブロック沈下・法面崩落 底樋周り及び洪水吐漏水	調査	測量	設計		査定				工事					
用排水施設	町	頭首工:3箇所 護岸崩落・堰自動倒伏不能 水路:24箇所 土砂崩落による閉塞 不等沈下・側壁倒壊	調査	測量	設計		査定				工事					
農道	町	農道:3箇所 路肩崩落・土砂堆積	調査	測量	設計		査定				工事					
農地(沿岸部)	町	除塩・木戸川排水機場・農地再生 及び土地改良事業		まちづくり	計画策定	業務委託		説明会		関係機関	協議		工事			
林道	町	路肩崩落・土砂堆積	被災調査					工事								
海岸防災林の再生																
治山施設災害復旧事業 (シウ神山)	県	津波により根固工(消波ブロック)が崩れ その効果が発揮されなくなった。			査定	工事									24年度内に査定を完了し、本格復旧の着手を目指す。	
防災林造成事業(檜葉)	県	地震により海岸防災林の地盤が沈下す るとともに、森林が津波により流失した。						調査			委託・工事等				檜葉町の復興整備計画の内容を踏まえ、海岸防災林の再生計画を検討。	
防災無線																
同報系防災無線設備復旧事業	町	システムの基本動作を確認済。 大阪・乙次郎地区の2局が要修理。		調査	工事			修理(大阪・乙次郎地区)								
J-ALERT	町	被災状況未確認。						前原・波倉地区屋外拡声支局設置工事								
役場・公共施設																
檜葉町役場	町	建物修繕が必要		調査	設計		査定	工事								
檜葉町集会所	町	役場建物並びに周辺駐車場整備が必要		調査	設計		査定	工事								

→ 工程が見込めるもの ●…→ 工程が現時点で見込みにくいもの

平成24年9月末現在

事業	整備主体	被災/稼働状況	H24年度				H25年度				H26年度				H27年度以降	備考・ポイント等
			4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
福祉施設																
南児童館	町	未調査のため、被災状況を把握していない。また、稼働もしていない。			●	●	●	●	●							
北児童館	町	未調査のため、被災状況を把握していない。また、稼働もしていない。			●	●	●	●	●							
保健福祉会館(地域包括支援センター)	町	未調査のため、被災状況を把握していない。また、稼働もしていない。			●	●	●	●	●							
やまゆり荘(高齢者デイサービスセンター) ※町有施設、運営は(社福) 檜葉社会福祉協議会	町	未調査のため、被災状況を把握していない。また、稼働もしていない。			●	●	●	●	●							デイサービスの運営は社会福祉法人だが、町の施設を貸与している。
りんべるハウス ※町有施設、運営は(社福) 希望の社福祉会	町	未調査のため、被災状況を把握していない。また、稼働もしていない。			●	●	●	●	●							運営は社会福祉法人だが、町の施設を貸与している。
グループホームこばな(障がい者) ※町有施設、運営は(社福) 友愛会。	町	未調査のため、被災状況を把握していない。また、稼働もしていない。			●	●	●	●	●							運営は社会福祉法人だが、町の施設を貸与している。
文教施設																
あおぞらこども園	町	園舎建物修繕が必要		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H27年4月再開予定。
南小学校	町	建物修繕が必要。機械室が停電により水没した為、機器の交換が必要。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	H27年4月再開予定。
北小学校	町	建物修繕が必要。耐震補強(校舎、体育館)		●												
檜葉中学校(既存)	町												●	●		
檜葉中学校(改築Ⅱ期)	町	鉄筋・型枠は長期間放置した事により撤去。躯体もコンクリート打設中だった為、解体が必要。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	国補助金のかさ上げ分が不確定。H27年4月再開予定。
武道館	町	施設建物修繕が必要(天井材の落下)				●	●	●	●	●	●	●	●	●		
コミュニティセンター	町	施設建物修繕が必要		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
公民館・公民館別館	町	施設建物修繕が必要								●	●	●	●	●	●	
総合グラウンド・町民体育館	町	施設建物修繕が必要								●	●	●	●	●	●	
JFAアカデミー女子寄宿舎	町	施設建物修繕が必要								●	●	●	●	●	●	東京電力へ貸出しているため未定

→ 工程が見込めるもの ···→ 工程が現時点で見込みにくいもの

平成24年9月末現在

事業	整備主体	被災/稼働状況	H24年度				H25年度				H26年度				H27年度以降	備考・ポイント等
			4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
観光施設																
サイクリングターミナル・しおかぜ荘	町	建築・電気設備・機械設備 給排水設備・温泉設備	温泉調査	実施設計 応急復旧	前田建設	貸出し				工事						
道の駅ならは	町	建築・電気設備・機械設備 給排水設備・温泉設備		実施設計 応急復旧	双葉警察署	貸出し				工事						
天神岬スポーツ公園災害復旧事業	町	遊具・便所・展望台外						被災調査	実施設計				工事			
木戸川渓谷遊歩道災害復旧事業	町	展望広場・便所・遊歩道外						被災調査	実施設計				工事			
岩沢海水浴場災害復旧事業	町	監視塔・シャワー室・便所外			進入路 ガレキ	閉鎖 撤去まで		被災調査	実施設計				工事			
住宅(公営住宅)																
楢葉町町営住宅	町	町営住宅の修繕が必要 耐用年数により解体も含み住民と協議を進める。		調査	設計	査定	工事									
産業用施設																
南工業団地災害復旧(専用排水管)	町	専用排水管破損及び閉塞	被害調査	実施設計						工事						
南工業団地災害復旧(調整池外)	町	調整池周辺法面崩落	被害調査	実施設計						工事						
復興まちづくり																
復興まちづくり計画	町	津波による浸水面積 約2.87km2 死11名(行方不明者2名) 流失全壊125戸		基本方針策定				復興まちづくり計画策定								防災・減災施設を被災現況調査に基づき想定し、シミュレーションにより津波に対する効果を検証する。その結果から、楢葉町復興まちづくり計画を策定する。

●→ 工程が見込めるもの ●→ 工程が現時点で見込みにくいもの

平成24年9月末現在

事業	整備主体	被災/稼働状況	H24年度				H25年度				H26年度				H27年度以降	備考・ポイント等	
			4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月			
除染																	
先行除染	国	H24. 10月完了予定	●→ 除染														集会所、焼却施設、 大阪地区・乙次郎地区一帯等
特別地域内計画	国	H24年4月 特別地域内除染実施計画策定	●→ 特別地域内除染実施計画に基づく事業														
仮置場	国		●→ 仮置場設置														
災害廃棄物処理																	
仮置場	国	災害廃棄物発生量: 2万5千t	●→ 仮置場の整備、搬入(調整中)														
仮設焼却炉	国	"	●→ 仮設焼却炉の設置、処理の実施(調整中)														用地の確保、関係者の了解が前提
損壊家屋の解体・撤去	国	"	●→ 解体工事(調整中)														用地の確保、関係者の了解が前提